

8千万円の資金調達を実施

— 京都大学イノベーションキャピタル株式会社(京大iCAP)、SMBCベンチャーキャピタル株式会社などが出資 —

株式会社 LegalForce (本社：東京都中央区 代表取締役 角田望／小笠原匡隆、以下LegalForce社) (<https://www.legalforce.co.jp/>) は2018年2月、3月に、京都大学イノベーションキャピタル株式会社 (本社：京都市左京区、代表取締役：室田浩司)^{*1}、SMBCベンチャーキャピタル株式会社 (本社：東京都中央区、代表取締役社長：石橋達史)^{*2}および京都大学学術情報メディアセンター／情報学研究科 知能情報学専攻兼担 森信介教授をはじめとする複数名の個人投資家から合計8千万円^{*3}の資金調達を実施しましたことをご報告します。

*1*2 それぞれが運営するファンドにて引受

*3 2018年3月9日に京都大学イノベーションキャピタル株式会社が発表したプレスリリースとの調達資金総額の相違については、その後追加で個人投資家の方から1千万円出資をいただいたためです。

「法」は重要な社会インフラであるにも拘わらず、法務という領域の特殊性も相まって技術の進歩の恩恵を十分に受けてきたとは言い難い状況にあり、結果、高度なリーガルサービスを受用できる人たちは限られています。

大手法律事務所出身の弁護士と情報処理工学を専攻した若手エンジニアチームが、自然言語処理技術において高い知見と実績を有する森信介教授 (京都大学学術情報メディアセンター／情報学研究科知能情報学専攻兼担) とともに LegalForce社を立ち上げ、「より多くの方がより高度なリーガルサービスを受用できる社会」を目指し、クラウド型契約書レビュー支援ソフトウェア「LegalForce」の開発を進めています。

LegalForce社の上記理念が高く評価され、また、LegalForce社の開発ロードマップと京都大学大学院情報学研究科の研究成果に高いシナジーが見込まれることから、LegalForce社は、京都大学イノベーションキャピタル株式会社、SMBCベンチャーキャピタル株式会社および京都大学学術情報メディアセンター／情報学研究科知能情報学専攻兼担 森信介教授をはじめとする複数名の個人投資家から合計約8千万円の資金調達を実施しました。